

IV. 臨床研修の目標・方略・評価

B. 資質・能力

2. 医学知識と問題対応能力

<行動目標>

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- ① 頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。
- ② 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- ③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。

<方略>

- ・担当医として入院患者を受け持ち、主治医とともに身体診察、検査、治療方針の決定を行う。
- ・主治医の指導のもと、治療方針を立て、入院診療計画書、退院療養計画書を作成する。
- ・上級医の指導のもと、入院患者の対応に当たる。
- ・最新の知見やエビデンスに基づいて、治療計画を立案する。
- ・CPCで症例を発表・討論する。またその症例を論文としてトヨタ医報に投稿する。
- ・年に1回は解剖に参加する。
- ・ローテート科の研究会、学会に参加して最新の医学的知見を学習する。